

# リリース・ノート Open Server™ 15.7 for Microsoft Windows

ドキュメント ID : DC75913-01-1570-01

改訂 : 2012 年 4 月 27 日

トピック	ページ
1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス	2
2. 製品の概要	2
2.1 製品のコンポーネント	3
2.2 IPv6 のサポート	3
2.3 サンプル・ファイル	3
3. 特別なインストールと設定の指示	4
3.1 EBF のインストール	4
3.2 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行	5
3.3 Open Server の複数のバージョンを Microsoft Windows 上 で実行する	5
4. このバージョンで変更された機能	6
5. 既知の問題	6
5.1 Open Server には Microsoft Visual C++ ライブラリのコン ポーネントが必要	6
5.2 インストーラの問題	7
5.3 64 ビット・ライブラリの使用	8
6. プログラミングの問題	8
6.1 新しいバージョンへのアップグレード	8
6.2 システム・パスの制限	8
6.3 サポートされない Open Server のルーチン	9
7. 製品の互換性と相互運用性	9
7.1 互換性と相互運用性の一覧	9
7.2 Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールす るためのガイドライン	10
8. テクニカル・サポート	11

Copyright 2012 by Sybase, Inc. All rights reserved. Sybase の商標は、Sybase の商標リス  
ト (<http://www.sybase.com/detail?id=1011207> からダウンロード可能) で確認できます。Sybase およびこのリストに  
掲載されている商標は、米国法人 Sybase, Inc. の商標です。® は、米国における登録商標であることを示します。このマニュアル  
に記載されている SAP、その他の SAP 製品、サービス、および関連するロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP AG の  
商標または登録商標です。Java および Java 関連の商標は、米国およびその他の国における Oracle およびその関連会社の商標  
または登録商標です。Unicode と Unicode のロゴは、Unicode, Inc. の登録商標です。このマニュアルに記載されている上記  
以外の社名および製品名は、当該社の商標または登録商標の場合があります。

トピック	ページ
9. その他の情報	11
9.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報	11
9.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス	12
10. アクセシビリティ機能	13

## 1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス

このリリース・ノートの最新バージョン(英語版)にはインターネットからアクセスできます。製品のリリース後に追加された製品およびマニュアルに関する重要な情報は、Sybase® Product Documentation Web サイトで確認してください。

### ❖ Sybase Product Documentation Web サイトのリリース・ノートにアクセスする

- 1 Product Documentation (<http://www.sybase.com/support/manuals/>) を開きます。
- 2 製品を選択します。
- 3 [Document Set] リストから、製品のバージョンを選択します。
- 4 マニュアルのリストから、使用しているプラットフォームのリリース・ノートへのリンクを選択します。PDF バージョンをダウンロードするか、オンライン・マニュアルを参照することができます。

## 2. 製品の概要

Sybase Open Server™ バージョン 15.7 は、以下のオペレーティングシステムの設定と互換性があります。

- Microsoft Windows x86 32 ビット版
- Microsoft Windows x86-64 64 ビット版

サポート対象のオペレーティングシステムの最新リストについては、Sybase platform certifications page (<http://certification.sybase.com/ucr/search.do>) を参照してください。Open Server が構築およびテストされたプラットフォーム、コンパイラ、およびサードパーティ製品のリストについては、『新機能ガイド *Open Server 15.7* および *SDK 15.7 Windows、Linux、および UNIX 版*』を参照してください。

## 2.1 製品のコンポーネント

Open Server のコンポーネントとこれらのコンポーネントがサポートされるプラットフォームのリストについては、『新機能ガイド *Open Server 15.7* および *SDK 15.7 Windows*、*Linux*、および *UNIX 版*』を参照してください。

Sybase では、Windows 用の次のコンパイラとリンカを Open Server とともに使用できるかどうかをテストし、動作確認済みです。

- Microsoft Visual Studio 2005 32-bit および 64-bit C/C++ Compiler、バージョン 14.00.50727.762
- Microsoft Visual Studio 2005 32-bit および 64-bit Executable Linker、バージョン 8.00.50727.762

## 2.2 IPv6 のサポート

このリリースの時点では、Open Server を Microsoft Windows プラットフォーム上で使用する場合に IPv6 がサポートされます。以下に示す `sql.ini` ファイルのエントリでは、最後の 2 つのサーバ・アドレスが IPv6 数値フォーマットになっています。

```
[BARNARD_OS]
master=tcp,barnards.sybase.com,18200
query=tcp,barnards.sybase.com,18200
master=tcp,barnards.v6.sybase.com,18200
query=tcp,barnards.v6.sybase.com,18200
master=tcp,fd77:55d:59d9:165:203:baff:fe68:aa12,18200
query=tcp,fd77:55d:59d9:165:203:baff:fe68:aa12,18200
```

## 2.3 サンプル・ファイル

サンプル・ファイルは、Open Server のインストール・ディレクトリ `%SYBASE%\¥%SYBASE_OCS%\¥sample` にあります。

## 3. 特別なインストールと設定の指示

Open Server をインストールする手順については、使用しているプラットフォームの『*Software Developer's Kit/Open Server* インストール・ガイド』を参照してください。該当する場合は、このリリース・ノート内の「[Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン](#)」(10 ページ)を参照してください。

---

**警告！** Open Server と SDK の両方を同じディレクトリにインストールする場合は、同じバージョン、同じ ESD レベルのものを使用することをおすすめします。Open Server と SDK はファイルを共有するため、バージョンや ESD レベルが異なると製品が動作しないことがあります。

---

環境の設定方法については、使用しているプラットフォームの『*Open Client/Server* 設定ガイド』を参照してください。

Open Client™/Open Server アプリケーションとサンプル・プログラムのコンパイルと実行については、使用しているプラットフォームの『*Open Client/Server* プログラマーズ・ガイド補足』を参照してください。

### 3.1 EBF のインストール

インストール環境を最新の状態に保つために、Open Server をインストールした後で、対応する EBF の最新版をダウンロードしてインストールすることを強くおすすめします。製品更新版は、Sybase Downloads (<http://downloads.sybase.com>) からダウンロードできます。

Open Server の各リリースには、SDK のサブセットが含まれます。したがって、Open Server EBF には、次の異なるバージョンの文字列が 2 つ含まれます。1 つは Open Server EBF で、1 つは、Client-Library、isql および bcp などの SDK ファイルです。

たとえば、ある Open Server 製品では、Server-Library のバージョン文字列が *Server-Library/15.7/P-EBF17391-17390* で、Client-Library のバージョン文字列が *Client-Library/15.7/P-EBF17930* などとなります。これらのバージョン文字列の 17931 は Open Server EBF を示し、17930 は Client-Library ファイル (およびその他の SDK ファイル) を示します。

適切なバージョンの Open Server を使用しているかどうかを確認するには、Open Server ライブラリのバージョン文字列を調べます。

```
find "Sybase" %SYBASE%\OCS-15_0\dll\libsybsrv.dll
```

## 3.2 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行

InstallAnywhere および InstallShield Multiplatform によって生成された一部のファイルは、同じファイル名を共有します。このことは、InstallAnywhere と InstallShield の両方のテクノロジーを使用して、製品を同じインストール・ディレクトリにインストールする場合、またはそこからアンインストールする場合に問題になります。これは、両方のインストーラによって使用されるファイルが警告なしで上書きまたは削除されるためです。Sybase では、InstallShield および InstallAnywhere を使用して、同じインストールディレクトリにインストールしたり、またはそこからアンインストールしたりしないことをおすすめします。

## 3.3 Open Server の複数のバージョンを Microsoft Windows 上で実行する

異機種環境において使用されるアプリケーションがそれぞれ異なるバージョンの Open Server に対してビルドされている場合は、コマンドプロンプトで各バージョンのパスを明示的に設定する必要があります。

次に示す例では、12.5.x の製品を使用するアプリケーションは `d:\ocs-1251` ディレクトリにインストールされており、15.7 の製品を使用するアプリケーションは `d:\ocs-150` ディレクトリにインストールされています。

- 1 Open Server 12.5.x を使用するには、[ コマンドプロンプト ] ウィンドウを開き、SYBASE および SYBASE\_OCS 環境変数を 12.5.x ディレクトリに設定します。次に例を示します。

```
set SYBASE=D:\ocs-1251
set SYBASE_OCS=OCS-12_5
```

- 2 同じ [ コマンドプロンプト ] ウィンドウで、PATH 環境変数を設定します。次に例を示す。

- Microsoft Windows x86 32 ビット版の場合

```
set PATH=%SYBASE%\%SYBASE_OCS%\bin;%SYBASE%\%SYBASE_OCS%\dll;%SYBASE%\%SYBASE_OCS%\lib3p;%PATH%
```

- Microsoft Windows x86-64 64 ビット版の場合

```
set PATH=%SYBASE%\%SYBASE_OCS%\bin;%SYBASE%\%SYBASE_OCS%\dll;%SYBASE%\%SYBASE_OCS%\lib3p64;%SYBASE%\%SYBASE_OCS%\lib3p;%PATH%
```

- 3 Open Server 15.7 を使用するには、別の [ コマンドプロンプト ] ウィンドウを開き、SYBASE および SYBASE\_OCS 環境変数を 15.7 ディレクトリに設定します。次に例を示します。

```
set SYBASE=D:¥ocs-150
set SYBASE_OCS=OCS-15_0
```

- 4 同じ [ コマンドプロンプト ] ウィンドウで、PATH 環境変数を設定します。次に例を示す。

- Microsoft Windows x86 32 ビット版の場合

```
set PATH=%SYBASE%¥¥SYBASE_OCS%¥bin;%SYBASE%¥¥SYBASE_OCS%¥dll;
%SYBASE%¥¥SYBASE_OCS%¥lib3p;%PATH%
```

- Microsoft Windows x86-64 64 ビット版の場合

```
set PATH=%SYBASE%¥¥SYBASE_OCS%¥bin;%SYBASE%¥¥SYBASE_OCS%¥dll;
%SYBASE%¥¥SYBASE_OCS%¥lib3p64;%SYBASE%¥¥SYBASE_OCS%¥lib3p;%PATH%
```

違うバージョンは別々のディレクトリにインストールする必要がありますが、アドレス・ファイル名を各アプリケーションに明示的に渡すことで、管理する *sql.ini* ファイルは 1 つだけですみます。次に例を示します。

```
isql -P -Usa -Sconnect50 -ID:¥ocs-150¥ini¥sql.ini
```

## 4. このバージョンで変更された機能

Open Server の機能の変更点は、『新機能ノート *Open Server 15.7* および *SDK 15.7 Windows、Linux、UNIX 版*』に記載されています。

## 5. 既知の問題

この項では、このバージョンですでにわかっている問題をすべて説明します。

### 5.1 Open Server には Microsoft Visual C++ ライブラリのコンポーネントが必要

**[CR #555455]** Open Server には Microsoft Visual C++ ライブラリのコンポーネントが必要

対処方法 : Microsoft Windows で Open Server を使用するには、Microsoft Visual C++ 2005 Service Pack 1 再頒布可能パッケージをダウンロードしてインストールします。

- package for Microsoft Windows x86 32-bit (<http://www.microsoft.com/downloads/en/details.aspx?FamilyID=200B2FD9-AE1A-4A14-984D-389C36F85647>) をダウンロードします。
- package for Microsoft Windows x86-64 64-bit (<http://www.microsoft.com/downloads/en/details.aspx?FamilyID=EB4EBE2D-33C0-4A47-9DD4-B9A6D7BD44DA>) をダウンロードします。

## 5.2 インストーラの問題

この項では、Open Server のインストール時に発生する可能性のある既知の問題について説明します。

### 5.2.1 Microsoft Windows 2008 でインストーラがインストーラ・ディレクトリを作成できない

**[CR #595614]** Microsoft Windows 2008 で、インストーラが Open Server インストール・ディレクトリを作成できるのは、管理者としてログインしている場合のみです。これは、ユーザの役割にディレクトリを作成するパーミッションが付与されている場合でも同様です。

対処方法: インストーラを実行する前に、インストール・ディレクトリを手動で作成してください。

### 5.2.2 キーボードで [製品フィーチャーの選択] ウィンドウを操作できない

**[CR #590282]** [Tab] キーおよび矢印キーを使用して、インストールまたはアンインストール・プログラムの [製品機能を選択します] ウィンドウを操作することはできません。

対処方法: マウスを使用して、[製品機能を選択します] ウィンドウをクリックします。そうすることで、ウィンドウにフォーカスが移され、キーボードを使用できるようになります。

### 5.2.3 コンソール・モードで西欧言語の文字セットが正しく表示されない

**[CR #588179]** コンソール・モードでインストールするときに、一部の西欧言語文字が正しく表示されません。

対処方法: Open Server をインストールする前に、次の操作を実行します。

- 1 [コマンドプロンプト] ウィンドウを開きます。
- 2 `chcp 1252` を実行して、コード・ページを 1252 に変更します。

- 3 [コマンドプロンプト] ウィンドウのタイトルを右クリックし、[プロパティ] を選択します。[フォント] タブで、[Lucida Console] を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 同じ [コマンドプロンプト] ウィンドウを使用して、インストーラをコンソール・モードで実行します。

#### 5.2.4 サイレント・モードでインストールするときに機能名が検証されない

**[CR #583979]** サイレント・モードでインストールするときに、インストーラが、応答ファイルで指定されている機能名を検証しません。  
対処方法: 指定されている機能名が正しいことを確認します。

### 5.3 64 ビット・ライブラリの使用

Open Server は、64 ビット・バージョンで使用できます。  
-DSYB\_LLP64 フラグを使用して、64 ビット・ライブラリを使用するアプリケーションをコンパイルします。

## 6. プログラミングの問題

この項では、Open Server に関連するプログラミングの問題について説明します。

### 6.1 新しいバージョンへのアップグレード

動的にリンクしている Open Server アプリケーション (svlib) では、ライブラリ名に "syb" が含まれる SDK ライブラリを使用した再コンパイルと再リンクの実行をおすすめします。

---

**注意** アプリケーション・ファイルを変更した場合は、再コンパイルする必要があります。

---

アプリケーションの構築に使用するバージョンと同じメジャー・リリースのランタイム・ライブラリを使用してください。

### 6.2 システム・パスの制限

作成するシステム・パスのサイズが 1K を超えないようにしてください。



### 6.3 サポートされない Open Server のルーチン

Open Server のルーチンの中には、Windows プラットフォーム上ではサポートされないものがあります。 `srv_capability` を使用してルーチンがサポートされているかどうかを調べることはできますが、Open Server DLL は、リンクと時間の依存関係を解決するためのスタブ・ポイントを提供していません。移植可能アプリケーションにおいて、次に示す Open Server のルーチンが使用されている場合は、アプリケーション内で `srv_capability` を実行して、そのルーチンが使用可能かどうかを判断し、Windows 固有のスタブ・モジュールをリンク用に用意してください。

- `srv_poll`
- `srv_select`
- `srv_signal`
- `srv_sigvec`
- `srv_dbg_stack`

## 7. 製品の互換性と相互運用性

ここでは、Open Server 15.7 と互換性のある製品について説明します。Open Server が構築およびテストされたプラットフォーム、コンパイラ、およびサードパーティ製品のリストについては、『新機能ノート *Open Server 15.7* および *SDK 15.7 Windows*、*Linux*、および *UNIX 版*』を参照してください。

### 7.1 互換性と相互運用性の一覧

表 1 に、Open Server、SDK、Adaptive Server<sup>®</sup> Enterprise、および Replication Server<sup>®</sup> の各バージョンの互換性と相互運用性の一覧を示します。特定のプラットフォームの情報については、各製品の Certification Report を参照してください。

複数の製品が相互運用可能であっても、ある製品の新しいバージョンで導入された新機能が、同じ製品や他の製品の古いバージョンではサポートされないことがあります。

表 1 : 互換性と相互運用性の一覧

Open Server	SDK			Adaptive Server				Replication Server					
	15.7	15.5	15.0	15.7	15.5	15.0.x	12.5.x	15.7	15.5	15.2	15.1	15.0.1	12.6
15.7													
Microsoft Windows x86 32 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
Microsoft Windows x86-64 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	該 当 な し	x	x	該 当 な し	該 当 な し	該 当 な し	該 当 な し

記号の説明 : x = 互換性あり、該当なし = そのプラットフォーム版で製品が使用できない、または Open Server と連動しない。

**注意** 表 1 に示した SDK および Open Server の互換性情報は、互換性のある製品をそれぞれ別の %SYBASE% ディレクトリにインストールすることを前提とします。詳細については、「[Open Server の複数のバージョンを Microsoft Windows 上で実行する](#)」(5 ページ) を参照してください。

#### その他の注意事項

- Open Server と SDK の互換性を確保するには、アプリケーションにインクルードされるヘッダ・ファイルのバージョン・レベルと、アプリケーションがリンクしているライブラリのバージョン・レベルが同じである必要がある。
- Open Server を呼び出すアプリケーションで Bulk-Library のルーチンを使用できない。
- DB -Library™ ベースの Open Server アプリケーションは、バージョン 11.x 以降ではサポートされない。

## 7.2 Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン

Open Server を他の Sybase 製品と一緒に同じマシンにインストールする場合は、次のガイドラインに従ってください。

- .bat ファイルを使用して、適切なバージョンの Open Server と環境変数を使用して各製品が起動するようにします。

- Sybase では、同じディレクトリに、SDK および Open Server のバージョンを混合しないことをお勧めします。たとえば、Open Server 15.5 が存在するディレクトリに SDK 15.7 をインストールすることは避けてください。この場合は、SDK と Open Server の両方を 15.7 にアップグレードしてください。

## 8. テクニカル・サポート

Sybase ソフトウェアがインストールされているサイトには、Sybase 製品の保守契約を結んでいるサポート・センタとの連絡担当の方（コンタクト・パーソン）を決めています。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通して Sybase 製品のサポート・センタまでご連絡ください。

## 9. その他の情報

Sybase Getting Started CD および Sybase Product Documentation Web サイトを利用すると、製品について詳しく知ることができます。

- Getting Started CD には、リリース・ノートとインストール・ガイドが PDF 形式で含まれています。この CD は製品のソフトウェアと同梱されています。Getting Started CD に収録されているマニュアルを参照または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です（CD 内のリンクを使用して Adobe の Web サイトから無料でダウンロードできます）。
- Sybase Product Documentation Web サイトには、標準の Web ブラウザを使用してアクセスできます。また、製品ドキュメントのほか、EBFs/Maintenance、Technical Documents、Case Management、Solved Cases、Newsgroups、Sybase Developer Network へのリンクもあります。

Sybase Product Documentation Web サイトは、Product Documentation (<http://www.sybase.com/support/manuals/>) にあります。

### 9.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報

Sybase Web サイトの技術的な資料は頻繁に更新されます。

#### ❖ 製品認定の最新情報にアクセスする

- 1 Web ブラウザで Technical Documents (<http://www.sybase.com/support/techdocs/>) を指定します。

- 2 [Partner Certification Report] をクリックします。
- 3 [Partner Certification Report] フィルタで製品、プラットフォーム、時間枠を指定して [Go] をクリックします。
- 4 [Partner Certification Report] のタイトルをクリックして、レポートを表示します。

❖ **コンポーネント認定の最新情報にアクセスする**

- 1 Web ブラウザで Availability and Certification Reports (<http://certification.sybase.com/>) を指定します。
- 2 [Search By Base Product] で製品ファミリーとベース製品を選択するか、[Search by Platform] でプラットフォームとベース製品を選択します。
- 3 [Search] をクリックして、入手状況と認定レポートを表示します。

❖ **Sybase Web サイト (サポート・ページを含む) の自分専用のビューを作成する**

MySybase プロファイルを設定します。MySybase は無料サービスです。このサービスを使用すると、Sybase Web ページの表示方法を自分専用カスタマイズできます。

- 1 Web ブラウザで Technical Documents (<http://www.sybase.com/support/techdocs/>) を指定します。
- 2 [MySybase] をクリックし、MySybase プロファイルを作成します。

## 9.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス

❖ **EBF とソフトウェア・メンテナンスの最新情報にアクセスする**

- 1 Web ブラウザで the Sybase Support Page (<http://www.sybase.com/support>) を指定します。
- 2 [EBFs/Maintenance] を選択します。MySybase のユーザ名とパスワードを入力します。
- 3 製品を選択します。
- 4 時間枠を指定して [Go] をクリックします。EBF/Maintenance リリースの一覧が表示されます。

鍵のアイコンは、「Technical Support Contact」として登録されていないため、一部の EBF/Maintenance リリースをダウンロードする権限がないことを示しています。未登録でも、Sybase 担当者またはサポート・コンタクトから有効な情報を得ている場合は、[Edit Roles] をクリックして、「Technical Support Contact」の役割を MySybase プロファイルに追加します。

- 5 EBF/Maintenance レポートを表示するには [Info] アイコンをクリックします。ソフトウェアをダウンロードするには製品の説明をクリックします。

## 10. アクセシビリティ機能

このマニュアルには、アクセシビリティを重視した HTML 版もあります。この HTML 版マニュアルは、スクリーンリーダーで読み上げる、または画面を拡大表示するなどの方法により、その内容を理解できるよう配慮されています。

Open Client および Open Server のマニュアルは、連邦リハビリテーション法第 508 条のアクセシビリティ規定に準拠していることがテストにより確認されています。第 508 条に準拠しているマニュアルは通常、World Wide Web Consortium (W3C) の Web サイト用ガイドラインなど、米国以外のアクセシビリティ・ガイドラインにも準拠しています。

---

**注意** アクセシビリティ・ツールを効率的に使用するには、設定が必要な場合もあります。一部のスクリーン・リーダーは、テキストの大文字と小文字を区別して発音します。たとえば、すべて大文字のテキスト (ALL UPPERCASE TEXT など) はイニシャルで発音し、大文字と小文字の混在したテキスト (Mixed Case Text など) は単語として発音します。構文規則を発音するようにツールを設定すると便利かもしれませんが。詳細については、ツールのマニュアルを参照してください。

---

Sybase のアクセシビリティに対する取り組みについては、Sybase Accessibility (<http://www.sybase.com/accessibility>) を参照してください。Sybase Accessibility サイトには、第 508 条と W3C 標準に関する情報へのリンクもあります。

